



2003年03月18日

フォルクスワーゲン ポロ スーパー1600 ジュニアWRCトルコラリーで優勝

MOTOR SPORTS NEWS

2003年3月2日(日)、フィンランドのVWインポーターチーム、レヒトネン モータースポーツ所属のコスティ カタヤマキが、スーパー1600ジュニアWRC第2ラウンドトルコラリーで優勝。ナビゲーターのミッカ アンティラと共に5分以上の大差をつけてのフィニッシュとなりました。彼らのVWポロ スーパー1600は、今後予定されている5つのジュニアWRCにおいても、その強さを発揮する可能性を証明しました。

全行程380km、3日間に渡って行なわれたトルコラリーは、アンタルヤ地方の南海岸に面する山岳地帯で行なわれ、路面は難しいグラベルでした。25歳のカタヤマキは、2日目を終了した時点で首位を確保。土曜日の夕方、軽度のミッショントラブルに見舞われたものの、全てのスペシャルステージ(以下:SS)でベストタイムをマーク。その後、ミッションのベアリングを交換し、日曜日に行なわれた5つのSSも無事に走破しました。

最終的に、ジュニアWRC第2ラウンドトルコラリーに参戦した22台のうち、実に15台がリタイアとなりました。なお、カタヤマキ選手のジュニアWRCのポイントは、第2戦終了時点で1位となっています。

ジュニアWRC第2ラウンドトルコラリー終了後のコメントは下記のとおりです。

VWレーシング 統括責任者R. シュトロツィク

「勿論、勝利にはとても満足しています。ニューモデルを投入して、これほど早い時期に勝利を収めることができたのは、素晴らしいことです。VWの栄えあるこの戦果に貢献してくれた皆さんに、拍手を送りたいと思います」

ドライバー: コスティ カタヤマキ選手

「モンテカルロ ラリーで、すでにVWポロ スーパー1600で勝てることを確信していました。私たちの戦略は注意深く、そして速く走ることでしたが、今回もうまくいきました。表彰台の一番上に立つのは格別の気分です」

ナビゲーター: ミッカ アンティラ選手

「ミスがなかったのととても満足しています。硬いタイヤを選択したことも正解でした。ちょっとペースが落ちる可能性もあったのですが、路面が荒れていたのが有利でした」

【ジュニアWRC第2ラウンドトルコラリー リザルト】

1. コスティ カタヤマキ / ミッカ アンティラ (フィンランド)	VWポロ	5:08:56.6
2. サルバドール カニェヤス / ザビエル アミーゴ (スペイン)	スズキ イグニス	5:14:01.4
3. ギー ウィルクス / フィル ピュー (イギリス)	フォード ピューマ	5:18:05.1
4. ヴィレ ペルティ テウロネン / ハリー カプロ (フィンランド)	スズキ イグニス	5:22:19.2
5. ルカ セチェティーニ / マルコ ムツアレリ (イタリア)	フィアット プント	5:38:05.6
6. アブド フェガーリ / ヨセフ・マタール (レバノン)	フォード ピューマ	5:50:18.0
7. デイミター イリエフ / ピーター シヴォフ (ベルギー)	ブジョー206	6:06:39.4

次のジュニアWRCラリーは、6月4日(水)～9日(月)に開催されるアクロポリス ラリー(ギリシア)です。VWポロの活躍にご期待ください。